

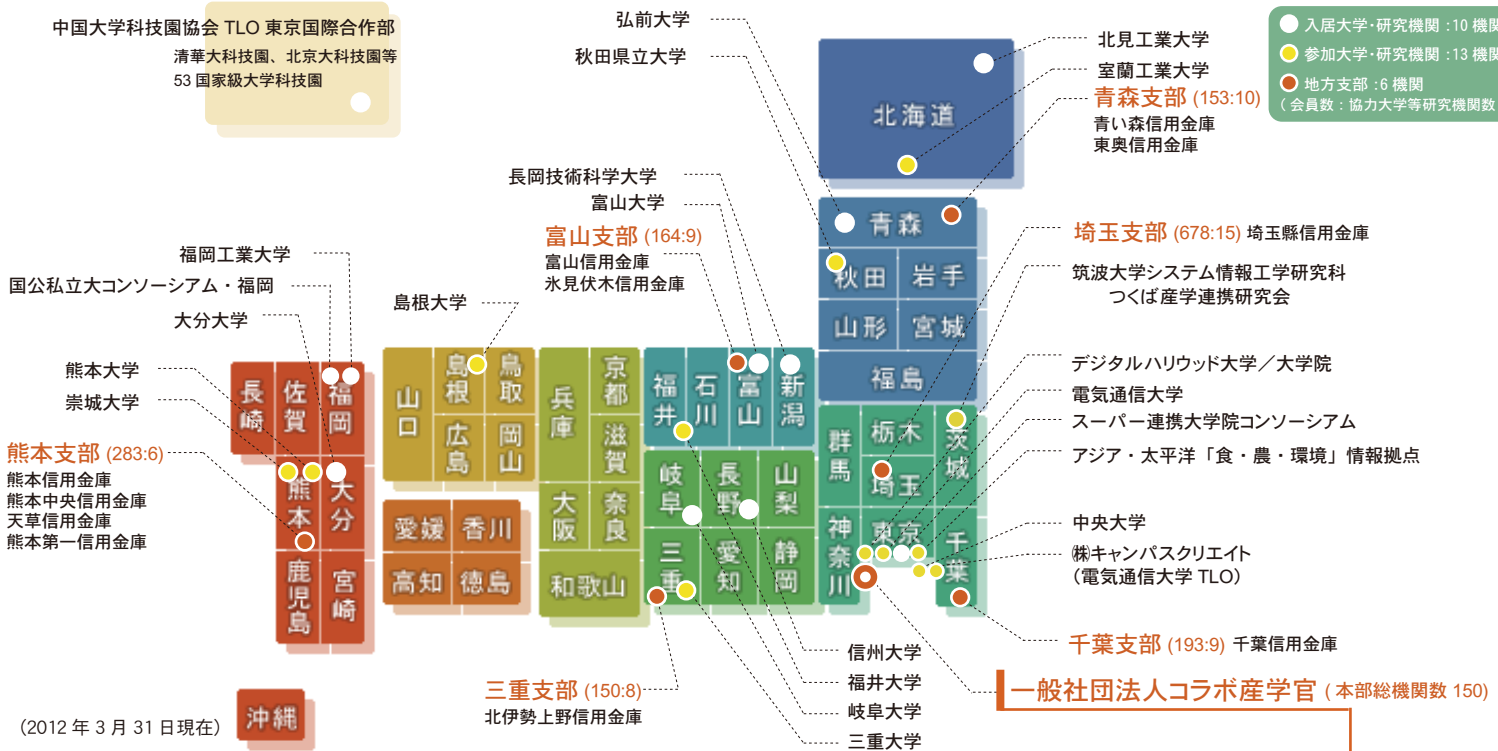
一般社団法人

コ ラ ボ 産 学 官

(2004年4月5日設立)

■ 総大学・機関数：75

■ 総企業会員数：1713



(2012年3月31日現在)

本部支援機関

- ・アジア・太平洋「食・農・環境」情報拠点
- ・朝日信用金庫
- ・あずさ監査法人
- ・アフラック
- ・(独)宇宙航空研究開発機構 産業連携センター

- ・江戸川区
- ・(株)キャンパスクリエイト
- ・(独)科学技術振興機構 (JST) SciencePortal (サイエンスポータル)
- ・(株)コラボ産学官
- ・(株)産学共同システム研究所

- ・(株)ジャフコ
- ・大企業投資(株)
- ・(独)東京都産業技術研究センター
- ・(財)東京都中小企業振興公社
- ・野村證券(株)

地方支部協力大学等

- 【青森支部】
- ・青森県立保健大学
  - ・青森公立大学
  - ・青森大学
  - ・青森中央学院大学
  - ・八戸大学
  - ・八戸工業大学
  - ・北里大学獣医学産学部
  - ・八戸工業高等専門学校
  - ・東北職業能力開発大学校附属 青森職業能力開発短期大学校
  - ・独立行政法人雇用能力開発機構

【埼玉支部】

- ・埼玉大学
- ・埼玉医科大学
- ・埼玉県立大学
- ・埼玉工業大学
- ・女子栄養大学
- ・芝浦工業大学
- ・東京電機大学
- ・東京理科大学
- ・東洋大学
- ・日本大学
- ・日本工業大学
- ・ものづくり大学
- ・立正大学

- ・(独)理化学研究所(和光)
- ・(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構

【千葉支部】

- ・千葉大学
- ・千葉工業大学
- ・日大生産工学部
- ・千葉商科大学
- ・東京情報大学
- ・淑徳大学
- ・木更津工業高等専門学校
- ・千葉県産業支援技術研究所
- ・千葉県農林総合研究センター

【富山支部】

- ・富山大学
- ・富山県立大学
- ・高岡法科大学
- ・富山国際大学
- ・富山短期大学
- ・富山福祉短期大学
- ・富山高等専門学校
- ・北陸職業能力開発大学校
- ・片山学園

【三重支部】

- ・三重大学
- ・鈴鹿医療科学大学

- ・鈴鹿国際大学
- ・四日市大学
- ・三重中央大学
- ・鈴鹿工業高等専門学校
- ・鳥羽商船工業高等専門学校
- ・近畿大学工業高等専門学校

【熊本支部】

- ・熊本大学
- ・崇城大学
- ・熊本県立大学
- ・熊本学園大学
- ・東海大学九州キャンパス
- ・熊本高等専門学校

地図出展：CraftMAP

イベントホール



机を入れて200名、椅子のみで500名収容

エントランス



サテライトオフィス内部(見本)



【東京オフィスの役割】  
(地方大学等研究機関)

1. 首都圏の産学官連携活動の拠点として
2. 首都圏の中小企業への公共の場
3. 学生のリクルーティング
4. 各種情報収集、打ち合わせの拠点として
5. 同窓会活動と大学支援組織の連携の場

大学等研究機関の会員は無料でご利用頂けます(イベントホールは有料)。各種会議・セミナー開催、東京での会議や企業等との打ち合わせ、イベントホールとしてご活用いただけます。

# 一般社団法人コラボ産学官とは？

一般社団法人コラボ産学官は、平成 16 年4月 5 日に朝日信用金庫の支援を受けて任意団体として設立され、共同オフィスを東京江戸川区に置きました。当社団の大きな目的は2つで、一つは、地方大学が連携して都内での情報発信を拡大し、大学シーズを都内の企業に活用してもらうことです。2つ目は、地域の信用金庫が核となった地方支部の全国ネットワーク組織を構築し、新しい産学官連携モデルによる地域産業の活性化を図ることです。

なお、平成 17 年 7 月 11 日には、これらの事業を推進するため、任意団体とは別に㈱コラボ産学官が設立され、信用金庫業界出資による「コラボ産学官ファンド（25 億 6 千万円）」が組成され、一般社団法人と連携して活発に投資活動を展開しています。

また、「専門的な知識・技術を必要とする中小企業（産）」、「大学等研究教育機関の持っている知財・人材（学）」、「国・地方自治体の中小企業支援体制（官）」、「地域密着型金融機関の資金・情報力・コーディネート力（金）」のコラボレート（協働）により、中小企業育成と地域産業の振興育成を目指しています。

なお、平成 20 年 12 月 10 日に一般社団法人となっています。



代表理事 / 本部理事長 常本 秀幸

1. 全国的な大学等研究機関の連合体です。大学等が持つシーズ・ニーズを中小企業につなぎます
2. 全国に県単位で信用金庫を事務局とした支部を設置しております。中小企業のニーズを大学等につなぎます
3. 一般社団法人の他に㈱コラボ産学官を設立し、信用金庫等が出資して組織された「コラボ産学官ファンド」を運用しています
4. 即戦力となるイノベーション博士を育成する「スーパー連携大学院」構想を支援・推進しています

## 「産金学+官」連携によるネットワークの形成とイノベーションの創出とは？

▼東奥日報 2008・9・3

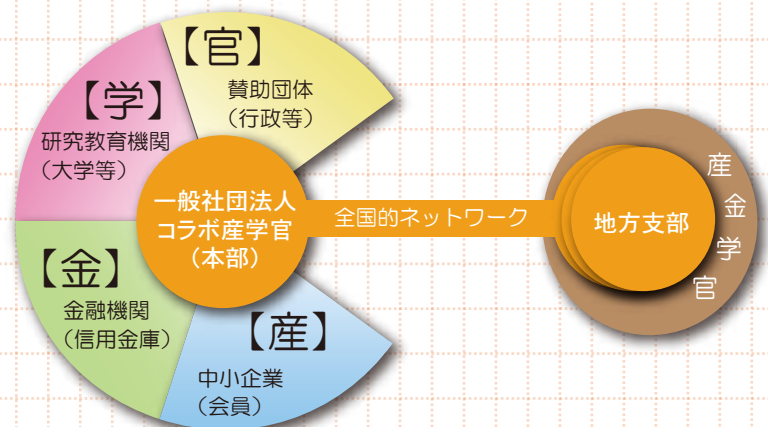


埼玉支部と青森支部の連携を通して、埼玉縣信用金庫顧客 3000 人の青森訪問旅行が実現した。これは 100 人ずつ、30 回に分けられ、3ヶ月間実施された。

1. コラボ産学官の中小企業支援に対する基本姿勢です  
『中小企業を知る上において、信用金庫の右に出るものはなく、中小企業が産金学連携を進めるための最大のコーディネート機関は信用金庫である』
2. コラボ本体の全国的ネットワークと県単位の地域密着型金融機関としての信用金庫が母体となった地方支部の融合により、イノベーション創出力を生み出しています
3. 産金学官いずれも単独では生き残れない時代に、全国 70 大学等研究機関のネットワークと地域力を持った信用金庫が形成する地方支部のネットワークを提供し、イノベーション力を高めます
4. 連携協力機関が各々の強みを知り、弱みを補完しあえるネットワークの形成が、イノベーション力を高めるために必要だと考えています
5. 大学が持っている専門知識・知的財産や国・地方自治体の制度的支援策を利用し、信用金庫が持つ情報力・資金力を元にして中小企業から「産業の芽」を発掘し、新商品・新産業の拡大を行い、国策でもあるイノベーションの創出を図ることが目的です

## 「コラボ産学官ネットワーク」における本部の役割

1. 全国的産金学+官ネットワークのハブの役割を担います
2. 全国のネットワーク会員に首都圏の産金学官のネットワークを提供する役割を担います
3. 本部を首都圏の拠点として、情報交流を活発にし連携活動を強化することが可能です

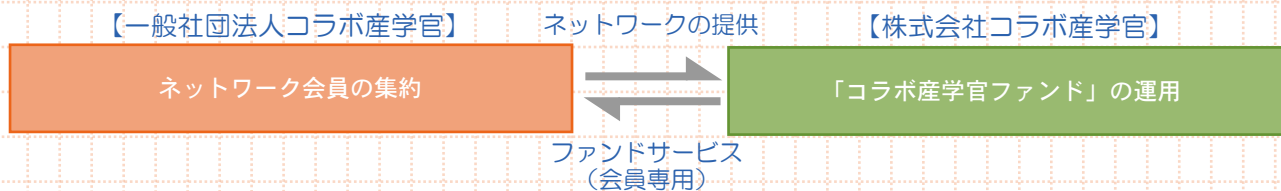


▲コラボ産学官が目指す「産金学+官」連携の仕組み

# 株式会社コラボ産学官との連携による事業

## ■ (株)コラボ産学官との連携によるファンドの活用

一般社団法人コラボ産学官のネットワークに会員として参加することで(株)コラボ産学官が運用している「コラボ産学官ファンド(25億6千万円)」のご利用が可能になります。



## ■ (株)コラボ産学官との連携による産学官金連携人材の流動化

(株)コラボ産学官では人材派遣業・有料職業紹介事業を行っており、産学官連携従事者のスペシャリストを保持しています。一般社団法人の幅広いネットワークを利用して、産学官連携人材(コーディネータ等)の派遣・紹介を行っております。



## イノベーション博士人材の育成を目指す スーパー連携大学院構想の支援



▲同事業内で検討中のパーク建設イメージ図  
(スーパー連携大学院公式パンフより転載)

### 7つの志

1. ベンチャー精神旺盛で自立を目指す
2. アカデミア以外の分野で活躍する
3. 専門分野への深い造詣の上にマネジメント力を兼ね備える
4. 未来志向の先見性と革新性を有する
5. 質の高いコミュニケーション力を発揮する
6. リーダーとして尊敬される深い教養を備える
7. 国際感覚を備え世界で活躍できる

▲スーパー連携大学院が育成するイノベーション博士の人材像を示す  
(スーパー連携大学院シンポジウム資料より転載)

「スーパー連携大学院構想」は、文科省の平成20年度～22年度の戦略的産学連携支援事業に採択された事業です。この構想に参加している15大学(下記に記載)は全てコラボ産学官会員大学です。コラボ産学官はこの事業を全面的に支援するため、コラボ産学官のネットワークを通じた広報等で協力・応援をしています。

■参加大学：北見工業大学、室蘭工業大学、弘前大学、秋田県立大学、長岡技術科学大学、富山大学、信州大学、中央大学、電気通信大学、三重大学、福岡工業大学、大分大学、崇城大学、熊本大学、立命館アジア太平洋大学

# History

# コラボ産学官の主な実績

- 2004年4月5日 ● 任意団体として設立
- 2005年7月11日 ● 株式会社コラボ産学官を設立
- 2006年7月28日 ● コラボ産学官ファンド(25億6千万)を創設
- 2008年10月 ● 文科省平成20年度戦略的大学連携支援事業としてスーパー連携大学院構想がスタート
- 2008年12月10日 ● 一般社団法人となる



2009年5月19日埼玉支部通常総会



イノベーションジャパン2008 野村證券協賛セミナー  
コラボ産学官が推進している「スーパー連携大学院」が2007、2008年と連続してテーマとして扱われた



2009年9月10日第4回コラボ学長フォーラムに登壇した10人の学長



2009年3月開催の理事会風景

## 支部会員で56大学等研究教育機関のネットワークを構築

- ・全国に信用金庫を母体とした事務局6支部を設立(平成21年3月現在)
- ・青森支部と埼玉支部では3000人の顧客交流事業を開催
- ・経済産業省の地域力連携拠点事業に支部として、また支部を構成する信用金庫として参加
- ・地方支部が地域力連携拠点事業で経済産業局長賞を受賞
- ・地方支部が各地域の地方財務局より地域密着型金融機関のモデル機関とされ表彰

## 本部会員で21大学等研究教育機関のネットワークを構築

- ・毎年「学長フォーラム」を開催し、10大学前後のトップが戦略的に画策連携する場を提供

## 株式会社コラボ産学官の設立

- ・一般社団法人コラボ産学官の事業を総合的にサポート

## コラボファンド(25億6千万)を創設

- ・現在22の投資先に対し、13.4億円を投資済み(2011年3月現在)

## 「広報活動」の推進

- ・JST発行の産学官連携ジャーナルの創設と推進に本部事務局長が編集委員長として参加
- ・コーディネータネットワークメルマガの創設と冊子化
- ・(社)新技術協会の事業として、コラボ地方支部を中心に委員会を形成、中小企業育成マニュアルを作成

## 研修会を開催

- ・東京都信用金庫協会との共催により、「イノベーション仕掛け人研修」を毎年開催、都内信用金庫と都内大学との連携の場を設置

## 産学官連携の仕掛人「コーディネータ」のネットワーク化

- ・コーディネータネットワーク会議の本部事務局を担当
- ・コーディネータネットワークつづき会議の創設と発起人として本部事務局長が参加

## 「スーパー連携大学院構想」のスタート

- ・本部・支部を合わせ、コラボ産学官に参加する70大学教育機関のうち、14大学で、文科省平成20年度「戦略的大学連携支援事業」に参加
- ・江戸川区から区内にスーパー連携大学院パーク建設が要請される

## 本部がハブとなり取りまとめた主な広域相談案件など

- ・えどがわ農業産学官プロジェクトとして、弘前大学と江戸川区が提携、弘大が同区特産の小松菜や花卉などを研究し、農業活性化に貢献
- ・デジタルハリウッド大学を江戸川区が同区主催の産業ときめきフェアで提携、フェア用公式ポスター作成やパンフ作成で同大学の学生を対象に公募、採択された
- ・コラボ産学官地方支部に持ち込まれた技術相談案件を本部の広域ネットワークで処理、他県の大学と共同研究が複数成立

## 組織概要

名称	一般社団法人コラボ産学官
沿革	平成16年4月5日 任意団体として設立 平成20年12月10日 一般社団法人となる
本部	〒134-0091 東京都江戸川区船堀3-5-24 コラボ産学官プラザ in TOKYO 5階 TEL 03-5696-9425 / FAX 03-3877-1207 E-mail: jimmu@collabosgk.com URL: http://www.collabosgk.com

- アクセス
- ・羽田からの場合(1時間8分)  
羽田空港(都営浅草線・京急線)→東日本橋→徒歩4分→(都営新宿線)馬喰横山→船堀
  - ・東京駅からの場合(34分)  
①東京(JR山手線)→秋葉原→徒歩6分→(都営新宿線)岩本町→船堀【34分】  
②東京(JR総武線快速)→馬喰町→徒歩2分→(都営新宿線)馬喰横山→船堀【37分】

